

研究プレゼンテーション・システムの開発

技術開発本部の展示コーナーにプレゼンテーションシステム（紹介システム）を設置した。従来研究の紹介を行うにはパンフレットやパネル等を利用してしたが、これらには表現に限界があった。今回開発したシステムは、イラスト、ビデオ映像、音声のマルチメディアを自在にコントロールできるシステムであり、来訪者は自分の知りたい研究内容を簡単に検索し、ビジュアルに理解することができる。

Development of Audio-Visual Presentation System

A presentation system has been placed in the exhibition corner of the Research and Development Bureau. Formerly, introduction of research activities to visitors has been made by means of pamphlets and panels which have limited capacities. The new presentation system we have developed is a multi-media control system which combines illustrations, video image and sound. A visitor can quickly find the information on the desired research subject, and personally receive an audio-visual presentation.

1 技術開発本部への設置

今回、技術開発本部が全面改装されたのを機に、昨年のチャレンジ活動で開発した「研究プレゼンテーション・システム」を展示コーナーに設置した。従来、研究内容を来訪者に説明するにはパンフレットやパネル等を用いていた。しかし、これらの手段では表現に限界があるうえ、作成や改訂に手間がかかる。そこで、映像や音声などのマルチメディアを自在にコントロールでき、簡単に研究紹介ができるシステムを開発した。

現在、展示しているシステムでは研究

所全体の紹介と、研究室ごとの紹介メニューを用意してある。来訪者は知りたい研究室を選択して、どんな研究設備があるのか、また、どんな研究が行われているのかを知ることができる。

2 システムの構成

システムはパソコンと光ディスクの二つのディスプレイで構成される。パソコンの画面には、説明文や説明図がナレーション付で次々現れる。また、画面に現われるメニューに指を触れることにより、次々に知りたい情報を検索できる。

また、光ディスクには研究設備や成果物の写真、ビデオ映像が数多く収録されており、パソコンの画面に連動して検索される。

3 簡単に作成できる環境を提供

本システムのソフトウェアは、米アップル社の「ハイパーカード」をベースに、光ディスクをコントロールできるように機能拡張し、だれもが簡単に研究紹介作品が作成できるようにユーザインターフェイスを工夫した。

作成者は、まずパソコンの画面上に文字やイラストを描く。この時、スキャナーやビデオデジタイザー等の入力装置が利用できる、また、パソコンには必要に応じてマイクやテープレコーダからナレーションや音楽を録音し、画面と同期して出力できる。

次に対応する光ディスクの画面を登録する。入力にはビデオカメラが利用できるほか、普通のカメラでとったネガフィルムからの入力も可能である。

4 今後の展開

作成時のユーザインターフェイスにまだまだ改良すべき点も多く、今後、さらに利用しやすい環境に育てていきたい。また、このシステムは技術開発本部の他、掛川営業所への設置も計画されており、今後の普及が期待される。

（電力技術研究所 情報制御研究室）

